

・寄生虫がどのような戦略で宿主 (魚介類)に寄生し続けられるのか？

ウキブクロ ウナギの鰓に寄生する線虫

を用いて研究しています

水中散歩(右が私、左が寄生虫の虜)

氏名	清水 直行
出身地	神奈川県平塚市 (大原高等学校)
自己PR	継続して物事に取り組む、キレイ好き(研究室の掃除役)
趣味	フットサル、釣り
特技	サッカー(10年間)、卓球、魚類解剖、魚類採血
マイブーム	ヨガ、英会話(大学とラジオ)、ミクシィ、分かりやすい表現について
好きな生物	ウナギ(研究と食に関係あるため)、メジナ(学部生時代にお世話になったため)、シュレーゲルアオガエル(ただ単純にかわいい)
将来の夢	・独創性のある環境技術員になる ・メタボリックにならないおじさんになる(フットサルを続ける！！)
研究テーマ	『ウナギ鰓線虫のエスケープ機構に関する研究』 ウナギ鰓線虫 <i>Anguillicola crassus</i> は、ウナギの鰓腔内に寄生し、ウナギの摂食不良による成長阻害、貧血症状、鰓壁の肥厚などの症状をもたらす寄生性の線虫です。 <i>A. crassus</i> は従来東アジアのウナギにのみ認められる寄生虫でしたが、1980年代にヨーロッパに伝播しヨーロッパウナギを中心に被害が報告されています。しかし、この寄生虫の感染機構および宿主生体防御能からの逃避機構は明らかにされていません。そこで本研究では、逃避機構に着目し、外部環境と接する線虫の表皮で発現している逃避関連物質について解析しています。